

令和8年4月1日

令和8年度 大田区立梅田小学校 学校経営計画

大田区立梅田小学校長
中村 一裕

1. 学校経営の基本理念

70年の歴史と伝統に育まれた梅田小学校の校風・教育文化・精神を継承するとともに、大田区教育委員会「新おおた教育ビジョン」を踏まえ、子どもたちに予測困難な社会の変化に創造力と柔軟性をもって主体的に対応できる知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育むための特色ある教育活動を推進します。地域・保護者と連携・協働して共に歩み、社会に開かれた学校づくりを通して、地域・保護者から信頼され、子ども、保護者、地域、教職員が愛校心と誇りをもつことができる学校を目指します。

教育は、未来の創り手となる人づくりの営みです。梅田小学校全教職員は、その英知と創造力を結集し、情熱をもって全力で教育活動に取り組んでいきます。

2. 教育目標

○明るく元気な子 ◎よく考える子 ○ねばり強い子 ○心のゆたかな子

3. 学校経営の基本方針

目指す学校像

～～こどもの主体性を伸ばし、こどもと共に作る学校～～

○「明日の登校を楽しみにするこども」あふれる学校

○「明日の教育活動を心待ちにする教職員」あふれる学校

○地域、保護者、関係者と一体となり協働して、地域の教育拠点としてこどもたちを育む学校

今年度のスローガンは、「挑戦し続けよう！成長し続けよう！失敗なんて存在しない」

Keep Challenging！ Keep Growing！ There is no Failure.

挑戦は人生を豊かにする。なぜなら成功からは自信を、失敗からは知恵が得られるからである。結果を求めめるのではなく、目標に向かってねばり強く取り組む姿勢を育てよう！

子どもたち一人一人の学びと安心安全な生活を保証し、確かな成長へと導くために、学習環境(物的・人的)の質の向上を図ります。「明日の登校を楽しみにする子ども」あふれる教育を推進します。

(1) 「明日の登校を楽しみにする子ども」あふれる学校教育を推進します。

○安心、安全で、自分らしさを生かして楽しく豊かに学べる「子どもが主役」の学校

・教職員一丸でいじめ0、差別0、重大事故0、行き場のない子0の実現を目指します。

・一人一人が能力や個性を発揮し、「わかる、できる、ねばり強くがんばれる」を目指した教育活動の実現を目指します。

・「共生」を合言葉に、学校大好き、先生大好き、友達大好き、自分大好きな子どもを育成します。

○生きて働く知識・技能を習得させ、未知の状況でも対応できる思考力・判断力・表現力の育成を図るとともに、学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性を育む教育を推進します。

・子どもの学習状況を的確に把握し、一人一人の理解度や達成度に応じた指導内容や指導方法の工夫・改善に取り組みます。

・次の3つの視点で豊かな学びを実現していきます。

① 自ら課題を設定し、試行錯誤しながらねばり強く課題解決を図る学び

② 課題追究的な学びによる深まり(個で追究)と知も心も交わる学びによる広がり(協働)の両立

③ 日常的な問いを学びに生かすことの習慣化

・「共に学び成長する」風土を醸成し、教師と子どもが合意形成を図り、子どもが学びの主体者となる学びの実現を目指します。

・マイスタート、マイロード、マイゴールを大切にした指導を推進します。(一人一人の学びのロードマップを大切にした指導)

・地域環境・資源を活用した体験的な学習の充実を図ります。(おたの未来づくり・社会・生活)

○豊かな心と社会性を育む教育を推進します。

・ルール・マナーとリレーション(親和的關係性)の確立と支持的風土の醸成に努め、子どもたちの満足度の高い集団を形成していきます。

・「やればできる」と自分を信じられる、成長的マインドセット(グロースマインドセット)が優位に働く子どもを育成します。

・省察(振り返り)により自他のよさや成長を実感し認め合う学習活動の充実を図ります。

・共感的な理解に努め、一人一人の子どもに寄り添う指導を行います。

・一人一人の子どもの心の悩み・不安を把握し、その解消に努めます。

・自発的なあいさつ、場に応じた言動、集団行動ができるよう、全教育活動で指導を行います。

・基本的な生活習慣の確立と規範意識を育てます。

・すべての教職員が同じ目線で全校の子どもを育てます。

・差別や偏見を許さず、自他の命と人格を尊重する思いやりのある児童を育てます。(人権感覚の涵養)

○健康の保持増進及び体力の向上を図る教育を推進します。

・年間を通して体を動かす心地よさを十分に味わわせ、スポーツを通して仲間と豊かにかかわる経験をさせて、進んで運動に取り組む意欲を育てます。

・子どもたちの運動環境の充実を図ります。

・家庭と連携して子どもたちの体力向上を図ります。

・感染症対策をはじめとして、健康で安全に暮らせる環境を整備します。

○学校行事改革を推進します。

- ・運動会、音楽会、展覧会を3大フェスタとして位置付け、スポーツフェスティバル、ミュージックフェスティバル、アートフェスティバルとし、こどもたちの主体性を十分に生かした表現、発表の場とする。
- ・3大フェスタは、こどもたちが運営に積極的に携わり、自分たちの力で成し遂げる達成感や成就感を十分に味わう機会とする。
- ・大田区内で最も多い児童数であることをプラスに捉え、一人一人が一体感、連帯感を味わい、自校に誇りのもてるエネルギーな取組とする。
- ・地域の方々や幼稚園、保育園とのつながりを大切にし、積極的な交流を進めていく。
- ・既存の概念にとらわれず、こどもたちの成長の可能性を一番に考え取り組んでいく。

(2)「明日の教育活動を心待ちにする教職員」あふれる学校

教師の成長なくして子どもの成長なし。人としての魅力に溢れ、生きる楽しさを体現するよき先人としての努力を惜しまない意識を醸成し、教師の人間力、指導力を育成します。

○教職員が互いに連携・協働し、「チーム梅田」で組織的な教育活動を展開します。

- ・教職員は、校長を筆頭に、プロフェッショナルとしての自覚と責任をもち、高い専門性と創造力及び柔軟性、豊かなコミュニケーション力や社会人としての品格を身に付ける努力を継続します。
- ・子どもへの教育的価値を最優先する意識を涵養します。
- ・教職員一人一人が自らの個性や能力、経験等を最大限に生かし、互いに高め合い、支え合いながら、自己肯定感をもてるやりがいと働きがいのある職場環境を作ります。
- ・学校全体が組織の中の学級・学年であるという意識のもと、学年団の結束を強固にして指導体制の充実を図ります。
- ・校長、副校長、主幹、主任のラインを明確にし、報告、連絡、相談、記録を確実にを行い円滑な学校運営に努めます。
- ・サポートルーム拠点校であることを生かし、教職員同士が学び合い、子どもたちの自己肯定感の育成、集団生活への適応を図るとともに、学級運営の安定化を図ります。
- ・「学校における働き方改革推進プラン」の趣旨に基づいたワーク・ライフ・バランスを推奨し、すべての教職員が心身ともに健康で生き生きと働く職場を目指します。

○授業で育てる教師を目指し、一人一人が「授業づくり」に力を注ぎます。

- ・生きて働く知力、たくましく生きる体力、共生の精神と高い人権意識を備えた徳力をバランスよく育てる質の高い授業や取組を追究する教師集団を育成します。
- ・こどもたちの実態把握、教材研究に努め、子どもの学習意欲を高めます。ねらいを明確にし、児童が見通しをもって学ぶことができる児童の側に立った「分かる授業」「楽しい授業」づくりを目指し、授業を常に工夫・改善していきます。
- ・互いの授業を見合い、日常的に質の高い授業を目指して切磋琢磨し、高め合う風土を醸成します。

・各種研修の実施により、授業改善の視点や教育者としての資質や能力を磨きます。

(3) 地域、保護者から信頼され、教育拠点として地域、保護者と協働して子どもたちを育む学校
令和8年度よりコミュニティースクールとなります。

子どもたちの笑顔や生き生きと学ぶ姿、そして、健やかに成長した姿は、地域・保護者共通の学校教育への最大の期待である。その期待に応えるべく、日々の教育活動に邁進し、協働して子どもを育てる関係づくりに尽力する。互いがWin-Winの関係になり、本当の意味での協働の実現を目指し、教育における地域の教育の拠点として機能する学校づくりに取り組む。

○学校、家庭、地域が相互に連携・協働し、地域・保護者の方々と共に歩む学校づくりを推進します。

(よい町はよい学校をつくり、よい学校はよい町をつくる。地域は教室、地域は先生、地域は教材。)

- ・梅田小学校と関わりのある地域・保護者の方々の参加・協力による授業・体験活動・学校行事により、学校の教育活動に大きな活力を生み出すようにします。
- ・家庭との連携を密にするとともに、学習相談や家庭学習支援など家庭教育への支援を充実させます。
- ・地域施設訪問、ボランティア活動、中学校、近隣幼稚園・保育園との交流、高齢者など、地域の教育資源や人材などの教育力を生かした教育活動を積極的に展開します。
- ・スクールサポーターとの連携を図った取り組みの充実を図ります。
- ・災害時拠点としての機能をより一層拡充していきます。

○教育活動を積極的に発信し、地域、保護者から信頼され、子どもたちを共に育てる学校を目指します。

- ・学校行事や授業の公開のほか、学校の経営方針や日々の教育活動等についての情報を学校ホームページ等を活用し積極的に発信し、学校の教育に対する理解を深めていただきます。今年度も子どもたちの生活や学習の様子を学校ホームページの「校長日記」のページで毎日紹介していきます。
- ・まなびポケットのクラスルーム機能を活用して、各種便りや連絡事項などを速やかにお届けいたします。
- ・学校の計画、実践、評価、改善を明確に説明し、学校評価を実施し、教育課程の編成に生かします。